

第2学年 総合的な学習の時間 指導案

指導者 中川 敏恵

1 単元名

高岡と金沢の「まちづくり」

2 目標

・同じ加賀藩の城下町である高岡市と金沢市の歴史的関係と現状や課題について、情報を集めて分析できる。(知識及び技能)

・高岡市と金沢市の歴史的関係と現状や課題を適切にまとめて、より良い町の発展について提案を發表することができる。(思考力・判断力・表現力等)

・高岡市と金沢市の歴史的関係と現状や課題について積極的に知り、より良い町の発展について提案を發表しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①これからの学習の目標と流れを理解している。 ②高岡自主プランを通して、高岡のSDGsの取り組みや金沢市との歴史、相違点を見つけている。	①高岡市と金沢市の歴史や現状を比較しながら、新たな課題を見つけたり解決策を提案したりしている。 ②集めた情報をスライドにまとめ、わかりやすく説明している。	①高岡と金沢の歴史や現状を比較しながら、新たな課題を見つけたり解決策を提案しようとしている。 ②集めた情報をスライドにまとめ、わかりやすく説明しようとしている。

4 指導にあたって

(1) 教材観

高岡市の歴史や現状を知ることを通して、同じ城下町として歩んできた金沢市との比較をすることが期待される。高岡市はSDGsにも取り組んでおり、市のホームページからも様々な政策を知ることができる。特にSDGs目標11の「住み続けられるまちづくり」に関しては、どちらの市も共通して取り組んでいることであり、高岡市から学べることが多くあると思う。また、都市交通システムについても学びが多い。

高岡自主プランは、必要な情報を集めるための現地調査である。実際に見たり聞いたりすることで、自分達の考えを深めて発表につなげさせることができると考えられる。

(2) 生徒観

一年生の時に「金沢ふるさと学習」を行い、金沢の伝統工芸を体験したり市役所や美術館でインタビューをした経験がある。金沢市の歴史や文化に関する知識はあるので、今回は他の市から見た金沢はどのようなものかを考えさせたい。SDGsに関しても金沢市の取り組みを学ぶなど、普段から自分達ができることを考えている。高岡市のSDGsや都市交通システムの取り組みに関しても、興味を持って学べると思われる。

(3) 指導観

「見通しを持つための工夫」として、授業の流れを学年集会で全員で確認をする。高岡市に行くことが目的ではなく、金沢市のまちづくりのために新たな提案ができることが目標であることを共通認識させたい。

「変容を自覚させる工夫」として、スライドでの発表を通して自分達が考えたことや新たにわかったことをまとめる機会を持たせたい。高岡市の現状や取り組みを知ることで、自分達が住んでいる町の魅力と課題点を考えられるように指導していきたい。

5 単元の指導計画及び評価計画（総時数 17 時間）

次	時	学習課題と内容	評価基準	評価		
				知	思	主
1	1	「高岡市ってどんな町？」 *インタビュー動画を見て、学習の目標と流れを理解する。	これからの学習の目標と流れを理解できた。	①		
2	2	「高岡市と金沢市との関わりは？」 「高岡市のSDGsの取り組みは？」 *高岡市のSDGsに関する場所や興味のある場所、都市交通システムについて、一人一カ所調べる。	高岡市ではどのようなSDGsの取り組みをしているのか理解できた。	②		
3	4	「高岡市の自主プランをたてよう。」 *グループ決め、役割分担を行う。 *グループになって、自分達が行って調べたい場所を確認する。 *その場所をどのように回るかを決める。	自主プランで実際に行く場所や行き方を考えることができた。			①
4	1	「高岡自主プランで気をつけることは？」 *現地での注意事項などを理解する。	当日の動きや目的を理解できた。	①		
5	5	「高岡市を現地調査しよう。」 *グループに分かれて、自分達がたてた計画に沿って現地調査する。	グループで協力しながら、知りたかったことを調べることができた。		①	
6	3	「調べたことをまとめよう。」 *わかったことや考えたことをスライドにまとめる。 *金沢市への提案をグループで一つ考える。			②	②

7	1	「金沢市への新たな提案は？」 *高岡市の取り組みや金沢市との比較を通して、金沢市への新たな提案を発表する。				①
---	---	--	--	--	--	---

6 本時の学習（ 7次1時）

(1) ねらい

金沢市のより良いまちづくりのための提案をする。

(2) 学習過程

1～6 学習活動 ○主な発問 ◎深める発問 ・主な意識の流れ		時	●指導 ◇評価（観点）＜評価方法＞ *支援 【ICT】ICTの活用 研究の重点①重点②
1	学習の課題をつかむ	5	● 発表を聞くときのポイントを伝える。
学習課題：金沢市がより住みやすい町になるには、どうすればいい？			
2	自分で考える ○ 高岡自主プランの発表を聞きながら、自分の考えをまとめていこう。 ・この班の提案は面白いな。 ・自分だったら、こう考えるな。	25	重点① 見通しを持たせる工夫 ● グループの発表を聞き、その提案から自分で良いと思う提案をするように促す。
3	自分の考えを伝え合う ○ どんな提案をしたら、金沢市がより住みやすい町になるかな？ ◎ 自分達が大人になったときにどんな町になっていたらいい？	5	*自分の考えが思いつかない生徒には、机間指導で周りの生徒の助言を促す。(C→B) *みんなの意見をすぐに読めるようにオクリンクを使用する【ICT】
4	みんなで考えを深める ○ オクリンクに出た意見を発表しよう。	5	●数名を指名して、その提案を選んだ理由を言わせる。
5	「わかった」「できた」をまとめる	10	重点② 変容を自覚させる工夫 ●最初に班で提案したことと同じか、変化があったかを比較しながら再構築させる。
6	ふり返りをする ○自分なら何を提案するか、ワークシートに理由をつけてまとめる。		
路面電車を導入を提案します。理由は交通渋滞緩和につながると思うからです。			
			◇ 学んだことを通して、自分なりの提案ができる（思考・判断・表現） ＜ワークシート＞

(3) 参観の視点に関する工夫点

重点①生徒に、発表を聞く際の見通しを持たせることができたか。

重点②生徒がグループの発表を聞くことで、考えを広げたり深めたりさせることができたか。

SDGs 11の目標である「住み続けられるまちづくり」について、

(4) 板書計画

課題 金沢市にどんな提案をする？

(発表順)

各班の提案

1 ()

まとめ

2 ()

3 ()

4 ()

5 ()